

## 市民が考える町田の行財政 その2

# 『公共施設等総合管理計画』 —市民生活にもたらす影響は？—

町田市は、この2月17日に「まちだ未来づくりプラン」に基づく後期「5ヵ年計画17-21」を公表しました。また、昨年3月の「町田市公共施設等総合管理計画（基本計画）」に基づく「実行計画」の策定も進められています。そこでは、図書館や博物館、自由民権資料館、市民文学館など多くの生涯学習関連施設について、再編・統合、存廃の可否、民間活力の導入などが明記されています。

人口減少や高齢化の進展による税収の落ち込みに加えて、これから増大が見込まれる社会保障費や公共施設の維持管理経費などにより、市の財政が危機的な状況になるというのが理由の背景にあるようです。この間、図書館資料費が大幅に削減されているのも背景は同様と考えられます。

市民生活に不可欠な図書館、また町田らしい文化発信拠点としてユニークな活動を展開してきた文学館などの施設については、これからもさらに拡充させていかなければなりません。

こうした中で私たちは、町田の行財政について市民の視点から考える機会を設け、シリーズで取組んできました。前回第1回は、財政状況を正確に把握するために『町田市の財政』を読み解きましたが、第2回目の今回は、「町田市公共施設等総合管理計画」について、多摩地域の他市の状況とともに考えます。奮ってご参加ください。

日 時：2017年5月23日（火） 18時～20時

会 場：町田市立中央図書館6階ホール

内 容：『公共施設等総合管理計画』から  
見えてくる課題・他市の状況など

講 師：伊藤久雄さん

東京自治研究センター理事・NPO法人「まちぼっと」理事

参加費：無料 \*直接会場へお越しください。

**主催：まちだ自治研究センター／町田の図書館活動をすすめる会**

問い合わせ：自治労町田市職員労働組合内 まちだ自治研究センター

電話 042-724-2194 または町田市役所内線 5739 FAX042-724-5903